

第 二 部

【 各 県 の 概 況 】

この項は、各県より提供の資料により編纂しています。
農林水産省における関連データ公表後に、調査・申告等により修正が発生し、公表データとの相違が生じる場合もありますので、ご了承願います。

1. 花き生産の概要

福岡県の花き生産は、県北西部の沿岸地帯と県南部の筑後地域が中心であったが、水田転作の推進等により、現在では県下各地に新しい産地が広がっている。

平成17年の生産額は、361億円（全国第2位）で前年対比92%、平成13年対比90%で、生産額の構成は、切花類40%、鉢もの類15%、花木類41%、花壇用苗物類3%でとなっている。

花きの生産は、温暖な気候を利用した露地栽培からビニールハウスや高度な装備をしたガラス・硬質ハウスまで、多様な作型を有し、周年出荷が行われている。切花生産は、キクをはじめ、バラ、カーネーション、ユリ、トルコギキョウ、ガーベラの生産が主体となっている。また、鉢物は洋ラン、シクラメンが中心となっており、花木は県中南部の耳納山麓地域を中心に、古くから全国有数の産地を形成している。

また、県民の潤いのある健やかな暮らしを実現するため、ハンキングバスケット等のコンテストやフラワーアレンジメント教室、園芸講座等を実施している。今後も県内の一層の活発な園芸活動を促進し、本県産花きの消費拡大を図るため、花の持つ多様な効用の活用方策の研究や園芸活動を支援、指導する人材の育成等を推進していく。

2. 花き生産の位置づけ

項目	年	全国シェア(%)	ランク(位)
花き生産額(A) 農業産出額 農業産出額に占める割合(A)/(B)	16	7.5	2
花き生産額(A) 農業産出額 農業産出額に占める割合(A)/(B)	17	7.3	2

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

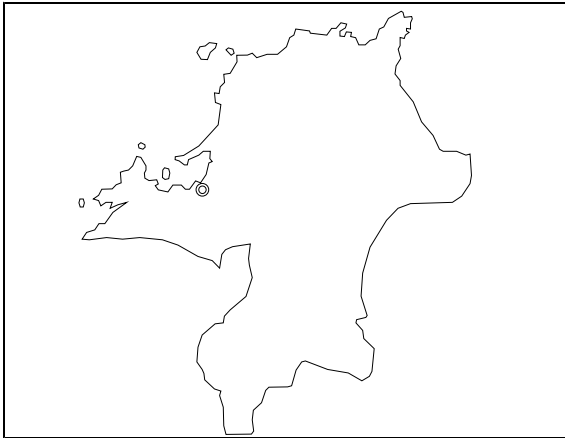
3. 主要花きの概要

(単位：ha, 億円)

区分	平成13年	14年	15年	16年	17年	17/13年	
切花類	作付面積	651	657	642	636	629	97
	生産額	148	147	150	148	144	97
キク	作付面積	325	331	320	321	313	96
	生産額	61	64	65	66	61	100
バラ	作付面積	32	33	32	32	31	97
	生産額	19	21	20	19	19	100
カーネーション	作付面積	13	13	12	11	11	85
	生産額	6	7	6	5	5	83
トルコギキョウ	作付面積	26	27	28	28	29	112
	生産額	5	6	7	8	8	160
鉢もの	作付面積	102	104	104	101	97	95
	生産額	57	59	62	66	54	95
洋ラン	作付面積	29	29	30	30	27	93
	生産額	35	33	32	36	32	91
観葉植物	作付面積	10	10	9	9	8	80
	生産額	5	8	4	4	4	80
花木類	作付面積	33	32	33	32	30	91
	生産額	8	7	11	7	6	75
花壇用苗もの	作付面積	48	48	51	51	50	104
	生産額	12	12	13	12	12	100
花木類	作付面積	1,530	1,535	1,514	1,487	1,329	87
	生産額	181	183	169	165	150	83
球根類	作付面積	-	-	-	-	-	-
	生産額	-	-	0	0	0	-
芝	作付面積	27	27	27	27	27	100
	生産額	0	0	0	0	0	-
地被植物	作付面積	1	1	1	8	8	800
	生産額	0	0	0	1	1	-
合計	作付面積	2,359	2,372	2,339	2,310	2,131	90
	生産額	399	401	394	392	361	90

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

(2) 主要産地の位置



(1) 主要市町村別花き栽培面積 (H17)

単位：ha

市町村名	栽培面積	主な花きの種類名
福岡市	60	バラ、キク、トルコギキョウ等
前原市	62	キク、洋ラン等
志摩町	38	洋ラン等
久留米市	1,056	花木等
朝倉市	142	花木、花壇用苗物、鉢物等
八女市	152	キク、ガーベラ等

(3) 主要花き産地の概要 (H17)

単位：戸，ha，千本

産地名 (市町村名)	農家 戸数	花きの種類 栽培面積	出荷数量 主な出荷先	産地の特色 (産地戦略等)
福岡市農協 北崎花き部会 (福岡市)	104	キク 3.0 バラ 7.0 ガーベラ 1.3 トルコギキョウ 4.5 ストック 8.0 その他 34.3	1,100 九州・関東 3,800 九州・関西 1,400 九州・関西・ 210 九州・関西 1,050 九州・関西	・予約取組率向上 ・先行販売対応強化 ・オリジナル品種拡大による 付加販売 ・市場集約 ・単位ロット数拡大
糸島農協 花き部会(キク) (前原市、二丈町 志摩町)	58	キク 41.7	6,000 九州 1,850 中国 500 関東等	・夏秋ギクを主体とした露地 栽培 ・輪ギクは黄・赤主体
糸島農協 花き部会(洋ラン) (前原市、二丈町 志摩町)	37	洋ラン(鉢物・切花) 17.4	500 九州 150 関東 450 近畿 230 東海 150 中国	・栽培品目及び品種が多様 ・周年出荷
にじ農協 苗木花木部会 コンテナ部会 鉢物部会 (久留米市田主丸町)	80 23 62	苗木・花木類 601.0 コンテナ類 11.0 鉢物類 18.0	258 全国 650 全国 887 全国	・時代に対応した多品目生産 ・新規販売ルートの開拓 ・オリジナル商品の開発
筑前あさくら農協 鉢花部会 (朝倉市)	33	花壇用苗物 5.5 鉢物(シクラメン等) 7.6 洋ラン 1.0	203 九州 14 関西 (千ヶes)	・鉢花・苗物・洋ランの他品 目産地 ・県内4市場には専用台車で 出荷 展示会の開催 ・リンドウはブランド化の確 立
福岡八女農協 八女電照菊部会 (八女市、筑後市 広川町、立花町 上陽町、黒木町) 花き部会 (八女市、広川町、 黒木町)	188 21	キク 163.0 ガーベラ 7.3	6,000 北海道 15,400 関東 27,000 関西 11,476 関西 2,885 中国 2,805 九州	・施設化、省力化を図り、周 年出荷体系を確立する ・部会で系統選抜を行い、品 質向上を図っている ・県育成品種の導入 ・ハッキングシステム利用による労 力軽減・分散を図る。

特色ある花き生産事例

生産者育種による産地の育成

キク、バラ、洋ラン等の多様な花き生産が県内農業の特徴です。生産者による花きの育種も盛んで、平成18年度の農林水産省種苗登録数は14件で、多くの生産者が育種に取り組んでいます。

国内外の産地間競争が激化する中、オリジナル品種の育成による産地づくりも重要です。

また、関係団体との連携を図り、商談会の開催による販路拡大の取り組みや新品种の紹介パンフレットを作成するなど積極的に支援しています。

県内の花き生産者による農林水産省種苗登録件数の推移

年度	登録件数
平成14	22
平成15	14
平成16	40
平成17	16
平成18	14

ポイント

オリジナル品種による産地の育成

- ・ 花きにおいては、消費者ニーズに即した作付けが強く求められ、他の作物に比べ品種の変遷が早いのが特徴です。
- ・ 経営費に占める種苗費の割合が高く、ユリ等の球根類では、50%程度を種苗費が占めています。
- ・ 生産者による育種は、経営を安定化させ躍進するための手段であり、オリジナル品種による産地化が県内で進行中です。
- ・ オリジナル品種により産地化された地域では他産地に比べ有利な販売を行っています。
- ・ 「初恋草」で全国シェアの大部分を占めている生産者グループ「T I U」(久留米市田主丸町)は、鉢物の商品開発により、収益性の高い経営を実践しています。また、地域の生産者にも育種の関心が高まり「新品种開発研究会」が組織化されるなど、育種による産地育成が進んでいます。



オリジナル品種初恋草



花きをテーマにしたイベントの開催状況

福岡フラワー&ガーデニングフェスタ

年度	開催期間	場 所	内 容
H13	H14.3.23～25	小郡市三沢	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーゾーン(フラワーアレンジ、ハンギングバスケット教室等) ・ガーデニングゾーン(モデルガーデン) ・展示販売ゾーン(花、農産物、資材等の販売) ・コンテスト(ハンギングバスケット、プランターガーデン、コンテナガーデン)
H14	H14.11.9～11	〃	
H15	H15.10.18～20	〃	
H16	H16.11.12～14	福岡市天神	<ul style="list-style-type: none"> ・花のゾーン、緑のゾーン、PRゾーン、コンテスト
H17	H17.11.26～27	北九州市 横代	<ul style="list-style-type: none"> ・花のゾーン、PRゾーン、コンテスト
H18	H18.10.18～19	久山町山田	

1. 花き生産の概要

平成 17 年度の栽培面積は 191ha で生産額は 43 億円（全国第 32 位）となっている。生産額は前年比は 96% で、平成 13 年比は 100% である。

粗生産額を種類別にみると、切花類 56%、鉢もの類 23%、花壇用苗もの類 14% の順となっている。

また、品目別にみると、切花全体の 134ha の内、キク 47ha、バラ 12ha、トルコギキョウ 9ha 等が栽培されている。鉢もの類ものについては作付面積が拡大し、生産額も伸びている。

関係機関の連携のもと、『花づくり推進協議会』を核として、「さがの花ふれあいフェア」や「花の教室」等を開催し、花きの生産振興を図っている。

2. 花き生産の位置づけ

項 目	年	全国シェア (%)	ランク (位)
花き生産額 (A) 農業産出額 (B) 農業産出額に占める割合 (A) / (B)	16	0.9	32
花き生産額 (A) 農業産出額 (B) 農業産出額に占める割合 (A) / (B)	17	0.9	32

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

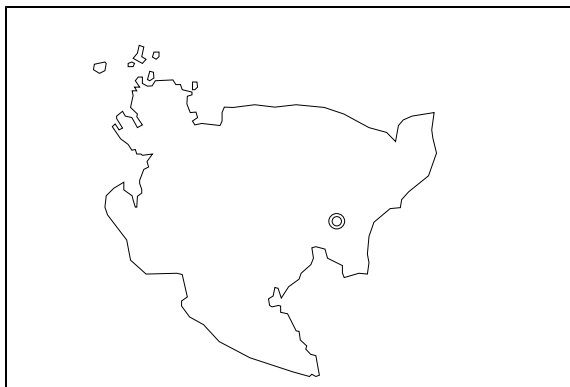
3. 主要花きの概要

単位：ha，億円

区分		13年	14年	15年	16年	17年	17/13年
切花類	作付面積	162	156	149	146	142	88
	生産額	26	26	27	24	24	92
キク	作付面積	58	54	50	49	47	81
	生産額	7	7	7	7	6	86
バラ	作付面積	11	11	11	10	10	91
	生産額	4	4	5	4	4	100
カーネーション	作付面積	5	5	5	5	5	100
	生産額	2	2	2	2	1	50
鉢もの	作付面積	16	17	18	19	19	119
	生産額	9	9	10	11	10	111
洋ラン	作付面積	3	2	3	3	3	100
	生産額	6	4	3	3	2	33
花壇用苗もの	作付面積	24	26	29	26	25	104
	生産額	7	7	7	7	6	86
花木類	作付面積	5	2	2	2	3	60
	生産額	1	1	1	1	1	100
球根類	作付面積	-	-	X	-	-	-
	生産額	-	0	0	-	-	-
芝	作付面積	-	-	-	-	-	-
	生産額	-	-	-	-	-	-
地被植物	作付面積	-	-	0	2	2	-
	生産額	-	-	0	2	2	-
合計	作付面積	207	201	198	195	191	92
	生産額	43	43	45	45	43	100

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

(2) 主要産地の位置



(1) 主要市町村別花き栽培面積 (H 17)

単位 : ha

市町村名	栽培面積	主な花きの種類名
佐賀市	18	キク、バラ、洋ラン
大和町	16	キク、カーネーション、ホオズキ
富士町	7	キク、トルコギキョウ
唐津市	35	キク、苗物、トルコギキョウ
白石市	16	キク、カスミソウ、スイートピー
鹿島市	14	キク、ユリ、スイートピー

(3) 主要花き産地の概要 (H 17)

単位 : 戸 , ha , 千本

産地名 (市町村名)	農家 戸数	花きの種類 栽培面積	出荷数量 主な出荷先	産地の特色 (産地戦略等)
J A 佐賀市 バラ部会 (佐賀市)	11	バラ 3.9ha	2,150千本 東京・関西	・バラのロックール栽培 ・バラの共選共販の導入
J A 佐城大和 ホオズキ部会 (大和町)	40	ホオズキ 4.0ha	151千本 関東・関西	・古くからのホオズキの産地 ・ホオズキの共選共販の導入
小城郡花卉部会 (小城市)	11	キク 1.3ha 洋ラン 3.3ha	730千本 600千鉢 中四国・近畿	・キクの共選共販による品質の均一化と省力化 ・洋ランの大規模経営
J A 富士町農協 花卉部会 (富士町)	20	トルコギキョウ 2.8ha キク 1.8ha	381千本 625千本 九州・沖縄	・中高冷地の特色を活かして、トルコギキョウ、露地キクの夏切り栽培
相賀花き部会 (唐津市)	46	キク 15.6ha カーネーション 18.0ha	5,546千本 1,601千本 九州・沖縄	・古くからキクの産地で、無霜地帯の特色を活かした、電照キクの生産
七山花き研究会 (七山村)	25	キク 3.1ha 鉢物 5.7ha 苗物 1.0ha	930千本 710千鉢 550千鉢 九州・沖縄	・主に鉢物を中心とした産地
福富キク部会 (白石町)	6	キク 2.3ha	1,022千本 大阪・広島	・キクの共販による品質の均一化 ・色物品種のブランド化
JA佐賀みどり ホオズキ部会 (武雄市、鹿島市)	31	ホオズキ 1.7ha	48千本 関東・関西	・古くからのホオズキの産地 ・露地中心であるが、一部施設を導入
太良バラ部会 (太良町)	4	バラ 1.7ha	1,258千本 関東・関西	・ロックール栽培 ・スプレーを主体とした多品種栽培

「小学生を対象とした『花の教室』開催事業」の概要

1 事業の概要

- (1) 目的 本県の将来を担う子供たちが、フラワーアレンジメントなどの体験を通じ、花に対する興味や理解を深め、花のある生活空間の「楽しさ」、「うるおい」などを感じ取ることにより、「豊かな心」を育むとともに、県産花きのPRや需要拡大に資する。
- (2) 実施主体 県（佐賀県花づくり推進協議会に委託）
- (3) 実施時期 10月～2月（10月はガーデニング教室のみ）
- (4) 内容 佐賀県産の花等を使った「フラワーアレンジメント教室」または「ガーデニング教室」の開催
- (5) 受講対象 佐賀県内の小学校に在籍している4年生～6年生の児童を対象とし、クラス、学年、クラブ等の単位とする。
- (6) 対象人数 640名程度
- (7) 実施経費 「花の教室」の開催に必要な花材代、講師料等の経費は、県の負担とする。
- (8) 予算額 1,500千円（委託費）
- (9) 実施校の選定 園芸課が、市町村教育委員会を通して実施希望校を募集する。実施希望児童数が予定数を上回った場合には、過去の開催状況・地域的なバランス等を考慮して、実施校を選定する。

2 事業の実施状況

(1) 申込状況

	H14	H15	H16	H17	H18
市町村数	36市町村	34市町村	30市町村	26市町村	28市町村
小学校数	79校	62校	58校	60校	53校
教室の内容					
フラワーアレンジメント	40校	41校	47校	51校	43校
ガーデニング	39校	21校	20校	17校	14校
受講希望者数	4,267名	3,462名	3,688名	3,375名	3,053名

(2) 実施状況

	H14	H15	H16	H17	H18
市町村数	20市町村	15市町村	12市町村	12市町村	10市町村
小学校数	21校	20校	14校	17校	14校
教室の内容					
フラワーアレンジメント	11校	13校	9校	11校	11校
ガーデニング	10校	7校	5校	6校	3校
受講者数	810名	813名	839名	879名	695名

市町村数は佐賀市合併前（H17.9末時点）の市町村数でカウント。

平成18年度「さがの花」ふれあいフェアについて（予定）

1 開催時期等

(1) 実施主体

佐賀県花づくり推進協議会（県、経済連、花き生産団体連合会、佐賀花市場、唐津花市場、佐賀花商組合、唐津花商組合）

(2) 開催時期

11月17日（土）～18日（日）

花の種類や量が多くなり、気候的に花が長持ちし、またクリスマス・正月など花を消費する機会を控え、県産花きの需要拡大効果が得やすい時期。

(3) 開催場所

佐賀花市場

(4) 開催方法

より効果の高い需要拡大策や消費者への県産花きのPRを目的として実施する。

2 主な開催内容（案）

- ・シンボルアレンジの作成
- ・県産花き品種展示、県内花き産地の紹介
- ・県内生花店マップの作成、配布
- ・花き品目別アレンジ、装飾方法のPR
- ・花の飾り方楽しみ方の提案
- ・フラワーデザイン技術競技会出品物展示
- ・フラワーアレンジの実演
- ・フラワーアレンジメント、ガーデニング体験教室
- ・ガーデニングコンテスト
- ・花に関する各種コンクール
- ・花き割引チケットプレゼント
- ・来場者プレゼント
- ・花き販売
- ・フラワーオークション など

1. 花き生産の概要

長崎県の平成17年度の栽培面積は380haで生産額は65億円（全国第26位）となっている。生産額前年比は100%で、平成13年比は103%である。

種類別生産額は、切花類80%、鉢ものの類12%、花木類5%、花壇用苗ものの類3%である。切り花類が増加傾向であるが、鉢もの、花壇用苗もの、花木類がやや減少傾向であり、全体的には横ばいとなっている。

品目別にはキクとカーネーションで切花類の69%を占めている。カーネーションは全国でも上位の生産額を占めている。

毎年11月には「ながさきフラワーフェスティバル」が開催され、県内で栽培されたカーネーションやバラ、洋ランなどが展示される。

2. 花き生産の位置づけ

項 目	年	全国シェア(%)	ランク(位)
花き生産額(A) 農業産出額 農業産出額に占める割合(A)/(B)	16	1.2	27
花き生産額(A) 農業産出額 農業産出額に占める割合(A)/(B)	17	1.2	21

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

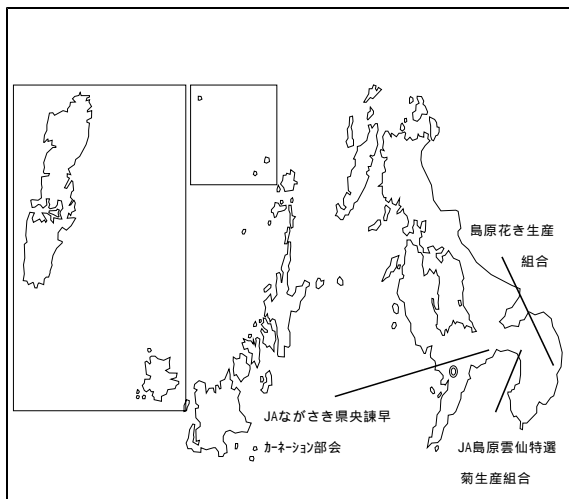
3. 主要花きの概要

(単位：ha, 億円)

区分		平成13年	14年	15年	16年	17年	17/13年
切花類	作付面積	242	247	247	243	248	102
	生産額	44	48	50	50	52	118
キク	作付面積	113	112	116	116	117	111
	生産額	21	24	26	27	27	129
カーネーション	作付面積	20	20	21	20	20	100
	生産額	8	8	9	9	9	113
バラ	作付面積	11	9	9	9	9	82
	生産額	4	4	3	3	3	75
鉢もの	作付面積	16	15	11	11	11	69
	生産額	10	8	8	8	8	80
洋ラン	作付面積	4	3	3	2	3	75
	生産額	3	2	4	4	4	133
花壇用苗もの	作付面積	15	16	14	11	12	80
	生産額	4	3	3	3	2	50
花木類	作付面積	78	123	113	112	109	140
	生産額	5	5	4	4	3	60
球根類	作付面積	0	-	X	X	X	-
	生産額	0	0	-	0	0	-
芝	作付面積	-	-	-	-	-	-
	生産額	-	-	-	-	-	-
地被植物	作付面積	-	-	-	-	-	-
	生産額	-	-	-	-	-	-
合計	作付面積	351	401	385	377	380	108
	生産額	63	65	65	65	65	103

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

(2) 主要産地の位置



(1) 主要市町村別花き栽培面積 (H17)

単位 : ha

市町村名	栽培面積	主な花きの種類名
長崎市	4 1	きく、草花
佐世保市	6 6	きく、カーネーション、ばら
諫早市	4 0	きく、カーネーション
大村市	1 6	カーネーション、鉢物
瑞穂町	1 0	カーネーション、キク

(3) 主要花き産地の概要 (H17)

単位 : 戸 , h a , 千本

産地名 (市町村名)	農家 戸数	花きの種類 栽培面積	出荷数量 主な出荷先	産地の特色 (産地戦略等)
島原花き生産組合 (島原市、南島原市、雲仙市)	1 3	きく 8.3ha	4,879千本 北海道 仙台、新潟	自動選別結束機の導入等による省力化の普及
JA島原雲仙特選菊生産組合(雲仙市)	1 1	キク 4.7ha	2,617千本 東京、姫路	養液土耕の導入等による省力化の普及
JAながさき県央諫早カーネーション部会(諫早市)	8	カーネーション 5.4ha	6,717千本 東京、大阪 広島	高品質生産

市町村名についてはH19,4,1時点の市町村名を記載)

4. 特色ある花き生産、特色ある栽培事例、地域ブランド品種

カ - ネ - ション

養液土耕栽培及び低コスト・省力技術である二年切り栽培の定着

ばら

長崎県総合農林試験場が開発したソーラーローズシステムの普及
少量溶液培地耕への取り組み

長崎県花き振興協議会各専門部会で長崎ブランド品種検討中

5. 花きイベント

例年11月に「ながさきフラワ - フェスティバル」を長崎市及び佐世保市で交互に開催。
長崎県花き園芸連合会主催。内容は花きの装飾展示、フラワ - アレンジメントコンテスト、
花き品評会 等

1. 花き生産の概要

熊本県は、冬期温暖な海岸島しょ地域から平坦地域、夏期冷涼な阿蘇を中心とした高冷地など、立地条件が多岐に渡っており、多彩な気象条件を活かした多様な花き生産が行われている。

平成17年の花き栽培面積（花木類を除く）は、849haで前年より21haほど減少した。種類別には、切花類が577haで68%を占め、鉢物類、花壇用苗もの類が66haで8%、その他の24%が球根類、芝類等の生産となっている。

品目別では、キク125ha、宿根カスミソウ106ha、トルコギキョウ44ha、スターチス類16haなどが主力品目であり、特に宿根カスミソウは全国第1位、トルコギキョウは全国第2位、スターチス類は全国第4位の生産面積をもつ主産地となっている。

平成17年の花き総産出額は、107億円（花木類含む）で、全国第16位となっている。

2. 花き生産の位置づけ

項 目	年	全国シェア（％）	ランク（位）
花き生産額（A） 農業産出額（B） 農業産出額に占める割合（A）／（B）	16	2.1％	16
花き生産額（A） 農業産出額（B） 農業産出額に占める割合（A）／（B）	17	2.1％	16

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

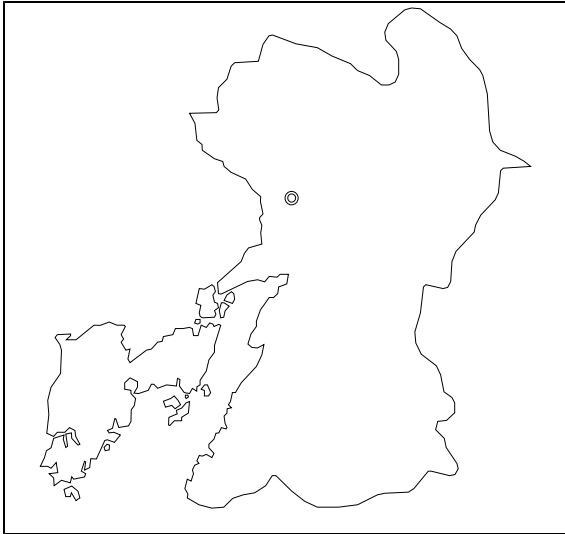
3. 主要花きの概要

単位：ha，億円

区 分		平成13年	14年	15年	16年	17年	17/13年
切花類	作付面積	641	627	602	586	577	90
	生産額	90	83	86	77	77	86
うち キク	作付面積	155	148	139	133	125	81
	生産額	21	18	18	15	14	67
宿根カスミソウ	作付面積	113	109	110	107	106	94
	生産額	15	14	14	14	14	93
トルコギキョウ	作付面積	38	40	39	42	44	116
	生産額	7	7	6	7	8	114
スターチス	作付面積	16	18	16	16	16	100
	生産額	5	5	5	4	5	100
鉢もの	作付面積	33	35	34	34	33	100
	生産額	23	28	23	22	18	78
うち 洋ラン	作付面積	14	14	15	14	14	100
	生産額	11	10	13	11	9	82
観葉植物	作付面積	5	5	3	3	-	-
	生産額	1	2	1	1	1	100
花壇用苗もの	作付面積	28	29	31	30	33	118
	生産額	5	4	3	4	5	100
花木類	作付面積	107	134	102	101	100	93
	生産額	3	4	3	4	4	133
球根類	作付面積	7	5	4	X	X	-
	生産額	1	1	0	0	0	-
芝、地被植物類	作付面積	240	240	226	221	206	86
	生産額	3	3	3	3	3	100
合計	作付面積	1,056	1,070	999	972	949	90
	生産額	125	124	118	110	107	86

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

(2) 主要産地の位置



(1) 主要市町村別花き栽培面積 (H17)

単位: ha

市町村名	栽培面積	主な花きの種類名
甲佐町	118	キク、宿根アスター、アリウム、枝もの等
菊池市	68	宿根カミソウ、トルコギキョウ等
上天草市	50	宿根カミソウ、キク、スターチス、ユリ
山鹿市	55	キク、トルコギキョウ、花壇用苗物類
熊本市	37	バラ、カーネーション、カラー、アリウム、球根類等
八代市	33	カラー、トルコギキョウ、アリウム、宿根カミソウ、スターチス等
宇城市	33	洋ラン、宿根カミソウ、鉢物類、花壇用苗物類等
阿蘇市	23	トルコギキョウ、リンドウ

注: 地図上の番号は、(3)と対応している。

(3) 主要花き産地の概要 (H17)

単位: 戸, ha, 千本

	農家戸数	花きの種類 作付面積	出荷数量 主な出荷先	産地の特色
甲佐町	193	キク 15ha 宿根アスター 40ha アリウム 5.7ha 切り枝 40ha	5,186千本 12,000千本 1,400千本 8,000千本 熊本県内 九州、関西	・宿根アスター、アリウム、枝物類の主産地 ・個人出荷・任意組合が多い。 ・アリウムは共販で、全国に出荷している。「曲げ」の技術が高く、活け花やアレンジメント向けに出荷
菊池市	191	宿根カミソウ 46.0ha トルコギキョウ 6.6ha スターチス類 3.4ha	5,713千本 1,503千本 807千本 関東・関西他 熊本県内	・日本一の宿根カスミソウ産地(隔離ベンチ栽培・バケット低温流通による高品質宿根カスミソウ生産、流通) ・宿根カスミソウの束共同選花・共同販売を実施(JA菊池) ・H18選花場空調施設染色開花室を整備(交付金事業)
上天草市	163	宿根カミソウ 27.0ha キク 6.6ha ユリ 5.6ha スターチス類 3.4ha	7,075千本 2,083千本 1,340千本 945千本 熊本県内 九州、関西	・温暖な気候を利用した古くからの花き産地 ・県営農地開発事業(H10)により24haを団地造成し、花き集団産地化 ・耐候性ハウス(キク、カミソウ、トルコギキョウ、ユリ)を整備(H17~H18)。1.8ha。
山鹿市	137	キク 39.7ha トルコギキョウ 1.1ha 花壇用苗物類 4.4ha	7,622千本 393千本 3,694千鉢 関東・関西他 九州 熊本県内	・キク主産地 ・施設の高度化による生産安定。 ・切花、花壇用苗物を共販(JA鹿本)
熊本市	290	バラ 3.9ha カーネーション 3.7ha カラー 6.1ha キク 14.0ha トルコギキョウ 2.5ha ユリ 9.0ha チューリップ 1.2ha アリウム 1.2ha 観葉植物 1.7ha	4,074千本 4,650千本 2,425千本 4,322千本 1,190千本 1,647千本 840千本 463千本 319千鉢 熊本県内・九州 ・関東・関西	・市街地近郊でのバラエティに富む花き生産 ・地下水を利用した湿地性カラー栽培 ・カラー、アリウム、花ショウブなどを共販(JA熊本市)

八代市	133	カラー トルコギキョウ キク アリウム 宿根加ミソウ スターチス類 切り枝	3.0ha 3.4ha 7.1ha 0.9ha 2.8ha 1.2ha 15ha	1,710千本 736千本 1,782千本 366千本 343千本 724千本 250千本	関東・関西他 熊本県内	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラー、ストック、スターチス等のパッケージ低温流通 ・ 中山間地におけるキク・アリウム生産。 ・ 他品目（いぐさ、野菜）からの転換により生産者・作付面積が増加している。
宇城市	129	洋ラン鉢物 宿根加ミソウ 鉢物類 観葉植物 花壇用苗物類	8.7ha 6.8ha 5.2ha 1.2ha 6.2ha	553千鉢 3,194千本 425千鉢 10千鉢 2,149千鉢	関東・関西他 熊本県内	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A熊本宇城「五蘭塾」洋ランの共販を実施。東南アジア等で中間育苗を行い、開花直前株を輸入し、開花させ出荷 ・ 鉢物、花壇用苗物類の主産地
阿蘇市	134	トルコギキョウ リンドウ	6.2ha 6.6ha	1,747千本 2,656千本	熊本県内 九州、関西	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏期冷涼な気候を活かした花き生産 ・ 県内一のトルコギキョウ、リンドウ生産 ・ 温泉熱を利用したバラ生産

熊本県農林水産部調べ「熊本県花き生産実績（平成17年産）」

1. 花き生産の概要

大分県では冬期温暖な海岸線、夏期は冷涼な高原地帯という立地条件を生かした生産が行われている。

平成17年の栽培面積は293haで生産額は71億円（全国第17位）となっている。生産額前年比は101%で、平成11年比は76%である。

種類別生産額は、切花類70%、鉢もの類23%となっている。全体的に減少傾向である。

品目別には、切花では、キク、バラ、トルコギキョウが主体になっている。その他の品目ではホオズキやスイートピー等が栽培されている。

2. 花き生産の位置付け

項 目	年度	全国シェア (%)	ランク (位)
花き生産額 (A) 73億円 農業産出額 (B) 1,345億円 農業産出額に占める割合 (A) / (B) 5.2%	16	1.7	22
花き生産額 (A) 70億円 農業産出額 (B) 1,353億円 農業産出額に占める割合 (A) / (B) 5.2%	17	1.8	17

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

3. 主要花きの概要

(単位：ha, 億円)

区分		平成13年	14年	15年	16年	17年	17/13年
切花類	作付面積	264	268	263	256	248	94
	生産額	63	61	55	52	50	79
キク	作付面積	82	78	78	81	82	100
	生産額	15	14	13	13	13	87
バラ	作付面積	22	21	21	20	19	86
	生産額	15	15	14	12	12	80
トルコギキョウ	作付面積	16	15	16	15	15	94
	生産額	6	6	5	5	6	100
鉢もの	作付面積	20	18	17	16	17	85
	生産額	16	14	14	15	16	100
洋ラン	作付面積	2	2	2	2	2	100
	生産額	11	7	3	2	3	27
花壇用苗もの	作付面積	10	10	10	12	12	120
	生産額	3	4	4	4	3	100
花木類	作付面積	52	48	48	19	17	31
	生産額	2	2	2	2	2	100
球根類	作付面積	-	-	-	-	-	-
	生産額	0	0	0	0	0	0
芝	作付面積	-	-	-
	生産額	-	-	-	-	-	-
地被植物	作付面積	-	-
	生産額	-	-
合計	作付面積	346	344	338	303	282	84
	生産額	85	82	75	73	70	84

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

(2) 主要産地の位置



(1) 主要市町村別花き栽培面積 (H17) 単位: ha

市町村名	栽培面積	主な花きの種類名
佐伯市	46.6	菊、木ズキ、トルコギキョウ
杵築市	28.5	菊、トルコギキョウ
九重町	20.2	菊、バラ
国東市	14.9	菊、バラ
玖珠町	9.2	バラ

(3) 主要花き産地の概要 (H17)

単位: 戸, ha, 千本

産地名 (市町村名)	農家 戸数	花きの種類 栽培面積	出荷数量 主な出荷先	産地の特色 (産地戦略等)
佐伯豊南農協 花き部会 (佐伯市)	74	キク 2,386a ホオズキ 846a トルコギキョウ 230a スイセン 275a	7,829千本 東京 518千本 大阪 725千本 福岡 5,960千本	・冬期温暖な気象条件を生かし、 電照ギクを中心とした花き団地 を育成。
杵築市農協 花き研究会 (杵築市)	80	キク 996a トルコギキョウ 182a シュウコンカミソウ 61a スターチス 123a	2,845千本 東京 815千本 大阪 367千本 396千本	・沿岸部の温暖な気象条件を生か し、電照ギクを中心とした周年 出荷体制型花き団地を形成、一 方で施設投資や経営コストが比 較的かからない草花類を組み合 わせた作型も推進し、産地化を 図っている。
九重町飯田農協 花き部会 (九重町)	33	バラ 510a シュウコンカミソウ 461a	3,800千本 東京 801千本 大阪 九州内	・準高冷地の気象条件を生かし、 バラとシュウコンカミソウの花き 団地を育成
くにさき農協 (国東市)	110	キク 458a バラ 125a ストック 140a ヒマワリ 100a ヤマザシキク 130a	1,618千本 東京 600千本 大阪 404千本 401千本 376千本	・温暖な気象条件を生かし、多品 目の草花を生産
玖珠九重農協 花き部会 (九重町、玖珠町)	40	バラ 400a キク 955a トルコギキョウ 140a	3,020千本 東京 2,678千本 大阪 436千本 福岡	・準高冷地の気象条件を生かし、 バラの花き団地を育成

資料: 園芸振興室調べ

特色ある栽培事例

・養液栽培に使用するロックウール培地の代わりに、日田市で生産される杉パークを利用。低コスト化と資源の利活用が図られている。品目: バラ、地域: 日田市天瀬町、九重町、杵築市、由布市他

地域ブランド品種の開発事例

・県内で育成されたバラのオリジナル品種を各産地に導入し、他県との差別化を図ることで有利販売されている。

・県の研究機関で育成したトルコギキョウ4系統を品種登録(17年2月)、小輪多花の特徴を持ち差別化が可能な品種。県内数地区に導入され、有利販売されている。出荷時期: 春~秋。

花きをテーマにしたイベントの開催状況

・花の祭典(花き消費拡大推進協議会主催、フラワーウェディング、フラワーアレンジコンテスト、ガーデニング講習会等実施)

・県花き品評会

1. 花き生産の概要

宮崎県の花き生産は、花や緑に対する消費者の関心の高まりに伴い、昭和60年代以降、急速に伸びてきた。平成17年の栽培面積は1,094haで、前年比98%、平成2年比115%となっている。また、生産額は134億円であり、前年比98%、平成2年比144%となっている。

種類別にみると、生産額では切花類が45%、鉢もの21%、花壇用苗物9%、花木類10%となっている。品目別では、キク、スイートピーが多く、中山間地の夏季冷涼な気象条件を生かした切り花や、花壇用苗物等も年々伸びてきており、徐々に周年出荷体制が確立されつつある。

今後は、新品種の育成、種苗供給体制の強化、品質及び生産性向上対策の充実を図り、宮崎県独自のオリジナル品種等を活用した多用で個性豊かな花き産地を育成するとともに、有利販売体制の確立と優れた担い手の育成により、地域の特性を生かした花き産地づくりを推進することとしている。

2. 花き生産の位置づけ

項 目	年	全国シェア(%)	ランク(位)
花き生産額(A)	137 億円	2.6	11
農業産出額	3,153 億円		
農業産出額に占める割合(A)/(B)	4.3 %		
花き生産額(A)	134 億円	2.7	11
農業産出額	3,206 億円		
農業産出額に占める割合(A)/(B)	4.2 %		

資料：農林水産省統計部「農業生産所得統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

3. 主要花きの概要

(単位：ha、億円、%)

区 分	平成13年	14年	15年	16年	17年	17/13	
切花類	作付面積	453	451	440	436	423	93
	生産額	72	68	60	60	60	83
うちキク	作付面積	137	131	126	121	115	84
	生産額	19	19	16	16	15	79
バラ	作付面積	17	16	14	15	12	71
	生産額	8	7	7	7	6	75
鉢もの	作付面積	30	35	35	38	37	123
	生産額	30	32	31	29	28	93
うちシンビジウム	作付面積	5	7	7	7	7	140
	生産額	9	7	
花壇用苗物	作付面積	61	58	60	66	67	110
	生産額	11	17	16	13	12	109
花木類	作付面積	205	207	177	184	179	87
	生産額	13	20	14	15	14	108
球根類	作付面積	37	40	36	34	34	92
	生産額	1	1	1	1	1	100
芝・地被植物	作付面積	365	353	373	361	354	97
	生産額	20	20	21	19	19	95
合計	作付面積	1,151	1,144	1,121	1,119	1,094	95
	生産額	147	158	143	137	134	91

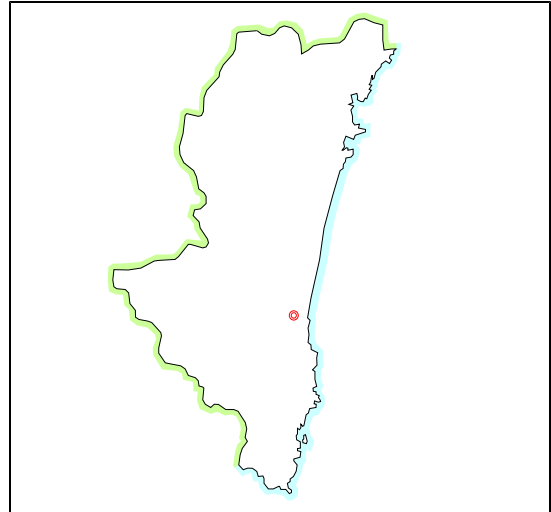
資料：「生産農業所得統計」「花き生産出荷統計」「花木等生産状況調査」

1) 主要市町村別花き栽培面積 (H17) 単位: ha

(2) 主要産地の位置

市町村名	栽培面積	主な花きの種類名
宮崎市	60.5	洋花、コショウラン、鉢・苗物等
国富町	17.8	電照ギク等
南那珂地域		スイートピー等
日南市	13.2	
北郷町	12.8	
小林市	19.3	キク等
新富町	29.7	シンビジウム等
西臼杵地域		
高千穂町	20.7	夏秋ギク等

* 栽培面積値は、市町村報告



(3) 主要花き産地の概要 (H17)

単位: 戸, ha, 千本

産地名 (市町村名)	農家 戸数	花きの種類 栽培面積	出荷数量 主な出荷先	産地の特色等
J A 宮崎中央 ・宮崎支店 洋ラン部会 (宮崎市) ・キク部会 (国富町)	13	鉢物 (コショウラン) 3.3 ha	227千鉢 関西	<ul style="list-style-type: none"> ・周年栽培が行われており、一部では、苗生産専門の生産者もあり、部会内での分業も行われている。 ・新技術の導入検討に積極的であり、ミディ系等のオリジナル品種の育成も実施。 ・法人や雇用型の経営体が多い。
	14	キク 13.7 ha	3,793千本 関東 関西	<ul style="list-style-type: none"> ・周年出荷による安定した供給体制が確立しつつある。 ・部会組織が強固で、月定例会等の活動が活発である。
J A はまゆう 花き部会 (南那珂地区)	50	スイートピー部会 10.0 ha	22,732千本 全国 (主は関東)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季温暖多照な自然条件を生かした花き産地で、スイートピーの生産は昭和61年から、花き生産は昭和10年代から続いている。 ・国内の生産量の半数以上を産出する本県の中でも、最も大きい部会となっている。
J A こばやし 花き部会 (西諸県地域)	32	キク 18.1 ha	4,656千本 関西	<ul style="list-style-type: none"> ・全量共販体制を確立している。 ・1戸当たり栽培面積が大きい。 ・部会による月例会、ほ場巡回の実施による技術の向上に努めている。
J A 児湯 新富支所 洋ラン部会 (新富町)	13	鉢もの (シンビジウム) 10.8 ha	209千鉢 関東 関西 九州	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期の山上げによる(高標高地に施設設置)9月から4月までの長期出荷体制の確立。 ・全国有数のシンビジウム産地。 ・オリジナル品種の導入等による有利販売に努めている。
J A 高千穂地区 花き振興会 (西臼杵地域)	52	キク部会 28.0 ha	4,750千本 関東 関西 九州	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地の夏季冷涼な気象条件を生かした夏秋ギクの産地。 ・水稻・畜産との複合経営が多い。 ・デルフィニウムやラナンキュラス等の冬春作の導入による花き総合産地を目指している。

1. 花き生産の概要

鹿児島県では、温暖な気象条件のもと、奄美、南薩地域を中心に、キク、ユリ、グラジオラスの切花等を中心に生産が行われている。最近、ソリダコ、レーザーリーフファンなどの新品目の産地化も進んでいる。

平成17年度の花き、花木（芝を除く）の作付面積は、1,829ヘクタール（前年度対比89%）生産額は201億円（同96%）となっている。品目別にはグラジオラス、ユリ・フリージアの球根生産が全国1位、スプレーギクの切花、観葉植物が全国2位を誇るなど、全国でも有数の花き産地である。

種類別生産額は、切花類57%、鉢もの類20%、花木類15%、花壇用苗もの類2%である。

品目別では切花類ではキク、鉢もの類では観葉植物が主体となっている。

県民が花と緑に親しむことのできる憩いの場として「フラワーパークかごしま」を設置し、花の生産と観光の振興を図っている。

2. 花き生産の位置づけ

項 目	年	全国シェア (%)	ランク (位)
花き生産額 (A) 農業産出額 農業産出額に占める割合 (A) / (B)	16	4.2	6
花き生産額 (A) 農業産出額 農業産出額に占める割合 (A) / (B)	17	5.0	6

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

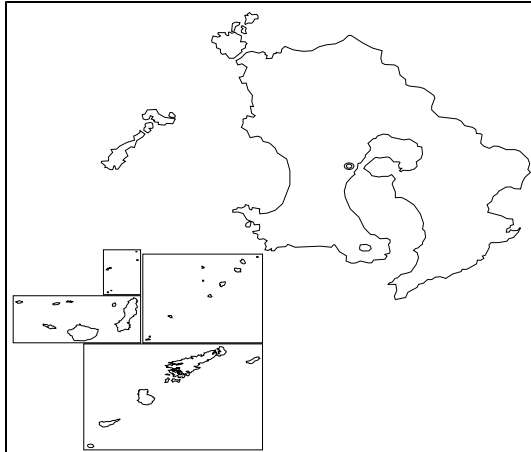
3. 主要花きの概要

単位：ha, 億円

区分		平成13年	14年	15年	16年	17年	17/13年
切花類	作付面積	853	936	924	897	905	106
	生産額	125	138	123	120	120	96
キク	作付面積	434	437	434	426	421	97
	生産額	63	65	62	62	63	100
カーネーション	作付面積	7	7	8	7	7	100
	生産額	3	3	3	3	3	100
バラ	作付面積	6	6	5	6	7	117
	生産額	3	3	3	3	3	100
洋ラン	作付面積	7	8	8	8	8	114
	生産額	3	3	3	4	3	100
鉢もの	作付面積	111	111	108	107	112	101
	生産額	37	37	38	39	41	111
観葉植物	作付面積	94	96	92	92	97	103
	生産額	26	26	28	27	26	100
洋ラン	作付面積	2	3	3	3	3	150
	生産額	5	6	6	8	10	200
花壇用苗もの	作付面積	29	26	27	24	25	86
	生産額	5	6	7	5	5	100
花木類	作付面積	950	946	896	948	708	74
	生産額	40	40	39	41	32	80
球根類	作付面積	128	94	92	82	77	60
	生産額	8	9	6	5	3	38
芝	作付面積	879	821	689	784	632	72
	生産額	12	13	12	11	8	67
地被植物	作付面積	1	1	1	0	1	100
	生産額	0	0	0	0	0	-
合計	作付面積	2,951	2,935	2,737	2,842	2,461	83
	生産額	228	243	225	221	209	92

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」農林水産省生産局果樹花き課花き対策室「花木等生産状況調査」

(2) 主要産地の位置



(1) 主要市町村別花き栽培面積 (H17)

単位：ha

市町村名	栽培面積	主な花きの種類名
指宿市	159	観葉植物, キク
枕崎市	96	キク
鹿屋市	225	キク
南種子町	24	レザーリーフファン
和泊町	223	キク, ユリ, ソリダゴ, グラジオラス
知名町	78	ユリ, ソリダゴ, グラジオラス

注：地図上の番号は(3)と対応している。

芝, カバープランツを除く

(3) 主要花き産地の概要 (H17)

単位：戸, ha, 千本

産地名 (市町村名)	農家 戸数	花きの種類栽培面積	出荷数量主な出荷 先	産地の特色(産地戦略等)
JAIいぶすき観葉植物部会 (指宿市)	65	観葉植物 25ha	800千鉢 県内 九州 東海 関東	・温暖な気候と泉熱利用による観葉植物栽培
JAIいぶすき花き部会 (山川町, 額娃町)	34	キク 7ha カーネーション1ha	1,900千本 県内 1,200千本 九州	・温暖な気候を利用した花き産地
枕崎市大塚花き生産者協会 (枕崎市)	48	キク 80ha	30,000千本 県内 九州 関東	・県内一の輪ギク産地 ・施設化, 省力化を図り周年出荷体系を確立している
JAそお鹿児島 (曾於市, 輝北町)	46	キク 25ha	10,000千本 県内 九州 関西	・新規就農者を取込み産地拡大を図っている新興産地
沖永良部花き流通センター (和泊町・知名町)	301	キク 65ha ソリダゴ 25ha ユリ 14ha グラジオラス 25ha	26,000千本 県内 14,000千本 関東 3,700千本 3,600千本	・県内一の花き産地 ・冷蔵コンテナ輸送による品質管理の強化
JA知名町 (知名町)	221	テッポウユリ17ha ソリダゴ 19ha グラジオラス 25ha	2,400千本 県内 5,700千本 九州 2,300千本 関東	・冷蔵コンテナ輸送による品質管理の強化

一部推計値を含む